１　目指す学校像　Ｒ５年度

(1) 教育目標

児童生徒一人一人が個性を発揮（輝き）し、仲間や地域の「人・もの・こと」との豊かな関わり（絆）を築き、達成感・喜び（感動）を積み上げる教育を通して、「地域で主体的に生き、行動し、生活し、働き、楽しむ（自立）」ことができる人を育てる。

スローガン　［　友と輝き　地域に生きる（自立）　］		
輝き（個性の発揮）	絆（豊かな関わり）	感動（達成感・喜び）

(2) 目指す学校像

①児童生徒が主体的に学び、**個性を発揮する学校**
②児童生徒が心身共に健康で、**安全・安心に生活する学校**
③児童生徒と教職員が保護者や地域と連携し、信頼され、**豊かに関わる学校**
④教職員が意欲と笑顔にあふれ、**役割を果たし活躍できる学校**

(3) 目標具現化の柱

ア　個性を生かし確かな成長を感じられる教育活動を進める。
　＜カリキュラム・マネジメント、個別最適な学び／協働的な学び、学習評価、個別の指導計画、ＩＣＴ教育＞
イ　具体的な将来像をより明確にした地域で生きる力を培う。
　＜キャリア教育、キャリアシート／キャリアパスポート、個別の教育支援計画＞
ウ　お互いが人を大切にして、笑顔に満ち溢れた学校生活を実現する。
　＜生徒指導、人権教育、道徳、あいさつ運動＞
エ　明確で実際的な危機管理、安全管理体制を整備する。
　＜防災・防犯体制、防災・健康・安全教育＞
オ　地域等とネットワークでつながり、共生社会の実現を目指す。
　＜地域とつながる活動、交流及び共同学習、理解啓発活動＞
カ　業務上の役割を果たし、貢献するとともに、業務の効率化を図る。
　＜組織改編、環境整備、データ・資料の管理＞

２　令和５年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	**個性を生かし確かな成長を感じられる教育活動を進める。**	・学習指導要領に基づいた教育課程の編成 ・根拠があり個性を生かす個別の指導計画の作成と実践 ・主体的に取り組めるＩＣＴ教育の実践	・「教育課程の押さえ」を踏まえ、学校全体の調和を図り、学部間／学年間の系統性を実現する教育課程が編成できたと感じる教員 100% ・児童生徒の発達段階を把握し、学習によって身に付けた力を評価規準／基準に沿って適切に評価することができたと感じる教員、保護者 100% ・児童生徒がＩＣＴを活用して自ら学習に取り組むことができたと感じる教員 100%	教務課 学習指導課 体育課 研修課 情報教育課 各学部 （学年・学級）
イ	具体的な将来像をより明確にした地域で生きる力を培う。	・将来像を明確化した個別の教育支援計画の立案と評価	・キャリアシートを、学年／学級経営や個別の教育支援計画の立案と評価に生かすことができた教員 100%	進路指導課 特別支援課 各学部 （学年・学級）

		・生活年齢を押さえた段階的なキャリア教育	・キャリアパスポートで設定した目標を達成できた児童生徒100% ・キャリアパスポートの目標に向かって児童生徒が力をつけたと感じる保護者 100%	
ウ	お互いが人を大切にして、笑顔に満ち溢れた学校生活を実現する。	・自他を大切にする生徒指導 ・お互いを認め合い、協力し合う学級・学年づくり	・相手を意識して自ら笑顔で挨拶ができた児童生徒、教員100% ・重大ないじめ０ ・居心地の良い学級／学年／学部を目指して主体的に取り組んだという児童生徒 100% ・「学校は楽しい」「学校に行きたい」など、学校が居場所になっていると答える児童生徒100%	生徒指導課 各学部
エ	明確で実際的な危機管理・安全体制を整備する。	・危機管理マニュアルを活用した防犯／防災体制づくり ・体験的に取り組む、防災・健康・安全教育	・危機管理マニュアルを活用し、主体的に行動できた教職員100% ・医療的ケアを含め、ヒヤリハットの活用による重大な事故０ ・自分の命や健康を自分で守るための取組ができた児童生徒100% ・通学途上の事故０	防災課 保健課 体育課 生徒指導課 各学部
オ	**地域等とネットワークでつながり、共生社会の実現を目指す。**	・地域資源を生かし、絆を深める教育活動 ・共生社会の担い手を目指す交流及び共同学習 ・効果的に保護者、関係機関とつながる理解啓発活動	・地域等の「人・もの・こと」とつながる新たな取組を実現した学年／学部／分掌 100% ・地域ボランティア「けやきの会」との交流再開 ・双方の成長を促した交流活動ができたと感じる教員、保護者、相手校 100% ・保護者、教育、就労、医療、福祉機関とつながり、対応を具体化できたと感じる教員100%	特別支援課 進路指導課 学習指導課 情報教育課 総務課 各学部
カ	業務上の役割を果たし、貢献するとともに、業務の効率化を図る。	・一人一人が役割と目的を理解して取り組む教育活動 ・不祥事根絶への取組の徹底 ・時間外勤務の縮減	・自信と根拠を持って業務に取り組むことができるようになったと感じる教員 100% ・所属部署内／所属部署間が協働することで、本校で働くことができてよかったと感じる教職員 100% ・不祥事　０ ・年間時間外勤務 360 時間以内100%	総務課 事務部 各学部 （学年・学級） 各分掌